

科目名	看護研究方法論Ⅱ Nursing Research Ⅱ		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	高橋佳子, 山本弘江, 大橋渉		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	前学期
科目概要	<p>看護研究方法Ⅰを基盤として、具体例を通じて、量的研究デザイン及び質的研究デザインの計画立案に向けて方法論と実際について学修する。</p> <p>量的研究における調査方法とデータ解析のための統計学的手法を学び、分析結果の解釈と表現の方法を修得する。質的研究デザインにおけるインタビュー・観察方法、データの整理、帰納的な分析方法とその解釈、表現の方法を修得し、自身の研究課題について方法論を述べるができる。</p>					
目標	<p>1 量的な研究デザイン及び質的研究デザインの種類とそれぞれに対応した研究方法を理解し、述べる事ができる。</p> <p>2 研究疑問に適した研究デザイン、研究手法の選択、データ収集方法・分析方法の基本を理解し、適用できる。</p>					
内 容	1	2019. 6. 3 (月) 6・7	量的研究の基礎(1)	研究対象のとらえ方 サンプリング、質問紙の構成、対象をとらえるための項目・選択肢の作成、名義尺度、基本統計量	山本弘江	
	2		量的研究の基礎(2)	調査研究(記述疫学調査) 尺度の選択方法、使い方、尺度の信頼性と妥当性	山本弘江	
	3	2019. 6. 10 (月) 6・7	量的研究の基礎(3)	探索研究(分析疫学研究) 研究仮説の立て方、バイアスと交絡因子、標本サイズ	山本弘江	
	4		量的研究の基礎(4)	介入研究 実験研究と観察研究、介入研究に伴う倫理的課題	山本弘江	
	5	2019. 6. 19 (水) 6・7	生物統計の基礎(1)	推測統計学 点推定と区間推定、信頼区間、統計学的検定の仕組み、有意水準、p値、 $\alpha$ エラー、 $\beta$ エラー	大橋 渉	
	6		生物統計の基礎(2)	各種検定方法 2群比較のための解析手法、パラメトリック、ノンパラメトリックの意味、t検定、Mann-WhitneyのU検定、分割票の検定( $\chi^2$ 乗検定、Fisherの正確検定)、対応のある(paired)データの意味と検定方法(paired t検定、Wilcoxonの符号付順位和検定)	大橋 渉	
	7	2019. 6. 26 (水) 6・7	生物統計の基礎(3)	多群の検定と相関 多群比較、多重比較、Pearsonの積率相関係数、Spearmanの順位相関係数、相関関係と因果関係	大橋 渉	
	8		生物統計の基礎(4)	回帰分析 説明変数、目的変数、回帰分析の目的、ロジスティック回帰分析、単回帰分析、重回帰分析の基本と結果の解釈について	大橋 渉	
	9	2019. 7. 3 (水) 6	生物統計の基礎(5)	SPSS統計解析ソフトウェアの使用の実際 [演習](場所:マルチメディア)	大橋 渉	
	10	2019. 7. 4 (木) 6・7	質的研究の基礎(1)	ガイダンス、半構成的インタビュー(技法と倫理)、記述式質問紙、参加観察法、質的研究における倫理	高橋佳子	
	11		質的研究の基礎(2)	帰納的分析方法の考え方:データのコード化/コーディング、概念、カテゴリー:意味の抽出、解釈	高橋佳子	
	12	2019. 7. 10 (水) 6・7	質的研究の基礎(3)	演習①:インタビューデータの熟読:テーマに沿ったデータの取り出しとコーディング	高橋佳子	
	13		質的研究の基礎(4)	演習②:インタビューデータのコーディングとカテゴライズ	高橋佳子	
	14	2019. 7. 26 (金) 6・7	方法論の適応(1)	授業を通して得た知識を活用し、自身の研究課題および方法についてまとめ、プレゼンテーションを実施する。	高橋佳子 山本弘江	

	15	方法論の適応(2)	授業を通して得た知識を活用し、自身の研究課題および方法についてまとめ、プレゼンテーションを実施する。	高橋佳子 山本弘江
学修方法	1 講義前には、講義内容に関連する書籍・文献を読み込んで授業に臨むこと(90分程度)。 2 講義後は、講義内容やディスカッションした内容を振り返り、復習しておくこと(90分程度)。 3 授業では、学生のプレゼンテーション、ディスカッションを通して学修を深める。 4 授業内容の質問、プレゼンテーション、ディスカッション、レポートについては、全体または個別に、その都度フィードバックを行う。			
評価方法	発表及びレポート(70%)、参加状況(30%)により評価する。 (レポートは各教員が提示する課題で作成する。)			
テキスト・参考書	参考書：その他、随時紹介する。 1 S. Grove, N. Burns, 黒田裕子他(訳)：「バーンズ&グローブ 看護研究入門 原著第7版 一評価・統合・エビデンスの生成」, エルゼビア・ジャパン, (2015/9), 9,720円(税込み) 2 D.F. ポートリット&C.T. ベック, 近藤潤子監修：「看護研究 原理と方法」第2版, 医学書院, (2010/3), 10,260円 3 鈴木淳子：「質問紙デザインの技法第2版」, ナカニシヤ出版, (2016/7), 3,024円(税込み) 4 木原雅子, 他：「医学研究のデザイン」(第4版), メディカル・サイエンス・インターナショナル, 医学書院, (2014/9), 5,076円(税込み) 5 柳井晴夫, 他：「SPSSによる統計データ解析—医学・看護学, 生物学, 心理学の例題による統計学入門」, 現代数学社, (2006/04), 2,526円(税込み)			
履修上の注意	各単元の前後について、各90分以上の準備学修が必要である。 授業に関する質問等には、授業内で全体に共有できるようにフィードバックする。 発表およびレポートについては、発表後に授業内でフィードバックする。個別にフィードバックする必要のあるものについては、個別にフィードバックを行う。 主体的な学修態度で臨むことを期待する。			